

令和5年度 デジタルドリル活用実証研究事業 土佐町立土佐町小学校

1. デジタルドリルを活用した取組の概要

主な取り組み

- ・加力の時間（月・火・木・金の15:45~15:55）に、指導者側が設定したユニットに取り組む。その後、取り組んでの成果と課題を振り返りシートに記入する。（教科は主に算数・理科・社会で実施）
- ・家庭学習の課題（宿題）として、指導者側が設定したユニットに取り組む。その後、取り組んでの成果と課題を振り返りシートに記入する。（頻度としては週に1.2回、主に算数・理科・社会の単元テスト前に実施し、復習の充実を意識した。）

2学期からの新たな取り組み

- ・授業での空き時間（テスト等の課題が早く終わった等）や家庭学習として、児童1人1人がユニットを選択して取り組む。（主に算数・理科・社会、時には4.5年生の内容を選択することも可とし、6年生としての総復習を意識した活用を実施）

デジタルドリルを活用した効果的な事例①

○デジタルドリルの活用場面（授業中・帯タイム・放課後・家庭学習等）や活用のポイント等をまとめてください。

振り返りシートの活用

すららドリル活用開始当初から、「振り返りシート」を活用してきた。これは、ドリルに取り組むだけで終わるのではなく、1人1人の学びを振り返らせたいという気持ちがあったためだ。内容としては、具体的に何がどれくらいできたかという成果と、どのような問題をどうして間違えたのかという課題を書くよう指導をした。このような取り組みにより、「前回間違えた問題だったが、正解することができた。」や「すららでたくさんやったから、テストでできた。」というような声があった。

日付	内容	名前（ ）	
		○成果	△課題
／	算数 「分数のかけ算」 国語 「主語と述語」	主語と述語に関しては、全問正解をすることができた。今回学んだことをわすれないようにして、次は修飾語の問題に取り組みたい。	分数×整数の問題で、整数を分母にかけてしまっていたので、気がついた。また、12と24の約分わすれもあったので気を付けたい。
／			

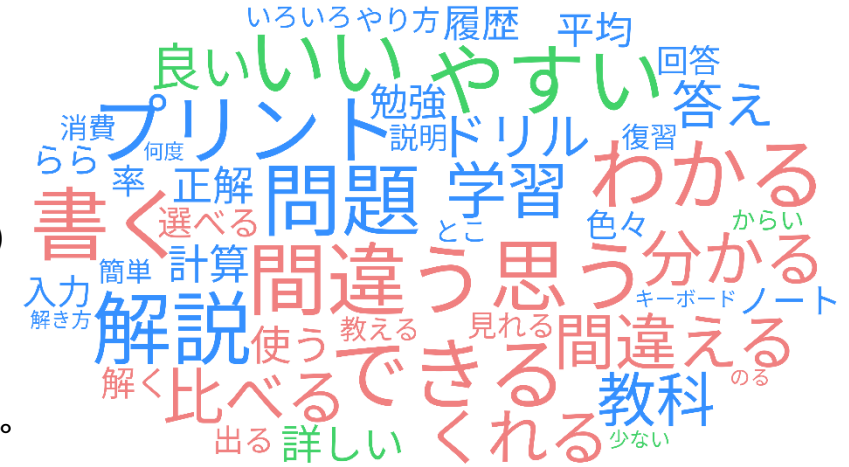
令和5年度 デジタルドリル活用実証研究事業 土佐町立土佐町小学校

デジタルドリルを活用した効果的な事例②

○デジタルドリルの活用場面（授業中・帯タイム・放課後・家庭学習等）や活用のポイント等をまとめてください。

算数「パワーアップタイム」での活用

2週に1回程度、算数の授業時数を使って、「パワーアップタイム」という時間を設定している。（5年生の時より）ここで、児童1人1人が自分自身の現在の課題や今後のテスト予定をもとに、取り組むべき内容（ユニット）を選んで進めるという活動を行った。この取り組みにより、1人1人の実態に合った学習時間を確保することができた。

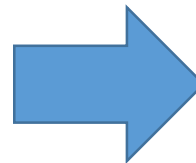


児童アンケート「すららドリルの良さ」 頻出語句50語

2. 成果・効果

○学力調査等の結果から見られる成果・効果についても分析してください。

- ・前年度（同学級）に比べて、単元テスト（特に算数・社会）の平均点向上
※ただし、すららドリルによる向上かどうかについては検討不可
- ・プリントの印刷や丸付け等の教員負担の軽減



3. 今後の取組の方向性

「小テスト、定期テスト機能」を活用して、児童1人1人の学力状況の分析・明確化及び日々の授業実践や家庭学習内容の設定に生かし、学力向上につなげる。